

# 令和2年度 事業報告書

障害児通所支援 みによん

生活支援に関する事業

実施事業名		実施月	実施状況		主な実施内容	結果
			参加人数	実施回数		
A 日 中 活 動	基本的生活習慣	通年	全員対象	毎日	基本的生活能力(食事・排泄・着脱等)を身に付ける。	利用者個々の能力や程度に応じた支援をし、基本的生活習慣の習得につなげた。
	室内活動	通年	全員対象	毎日	一人ひとりの利用者の欲求を十分に満たし、生命の維持と情緒の安定を図る。	宿題や製作活動、リズム遊びを楽しんでいた。毎月、行われるお誕生会では、ゲームや紙芝居を楽しんだ。
	室外活動	通年	全員対象		近隣の公園・公共の施設の外出を通して基礎体力と心身の健康の増進を図る。	新型コロナウイルスにより、公共の施設への外出は自粛した。所内の遊具や近隣の公園へ出かけ心身の健康の増進を図った。
	製作活動	通年	全員対象	月1回	手・指を使うことで日常生活活動能力の向上を目指す。また、製作活動を通して達成感を味わい自信に繋げる。	父の日や母の日にちなんで、プレゼント製作を行なった。喜んでくれたことや、プレゼントを使ってくれたことを嬉しそうに話す子どもいた。また、季節に合わせて室内の装飾作りもした。
	ミュージックケア	通年	全員対象	月2回	音楽の特性を利用して、心身に快い刺激を与え、対人的な関係の質を向上させ、情緒の回復や安定を図る。さらに運動感覚や、知的機能の改善を促し、心身と生活に好ましい変化を与える。	音楽を聞きながら、楽器を鳴らしたり、動作をすることで集中力を養うことが出来た。また複数の児童が触れ合いながら行うことでコミュニケーションスキルも高まり楽しく参加できていた。
	えいごでFUN	通年	全員対象	月2回	英語の音楽に合わせて身体を動かしたり、ゲームを取り入れて楽しく英語を学ぶ。ニーズに応じて個別レッスンをを行う。	歌やゲームを通して楽しく英語を学ぶことができた。言葉で表現することが難しい利用者も講師の真似をして単語を発する等、「聴く」「話す」のトレーニングに繋がった。
	スヌーズレン	通年	全員対象	通年	聴覚・資格・触覚・味覚・嗅覚の五感を使って、トータルリラクゼーションの心地よい空間を提供する。	学校の行事の練習で疲れているとき、不穏なとき等、心の安定を図る部屋として活用された。

A 日 中 活 動	美化活動	通年	全員対象	月1回	花壇の整備、草むしり、窓ふき等、環境美化活動を行う。	日常生活での整理整頓も身に付くよう支援を行った。
	キッズヨガ	通年	全員対象	週1回	心と身体両方に作用するヨガを通して健康な身体を作ると同時に、精神の落ち着きを得ることで自己肯定感などを高め、豊かな人間性を育成することを目的に行う。	様々なポーズをすることで、体幹が鍛えられ姿勢を正すことや集中力を高めることに繋がった。
	フラ体操	通年	全員対象	月1回	フラダンスをベースとした体操で脳の活性化、健康促進を目的に行う。	流行している音楽でのフラ体操は、子ども達のやる気を引き出すことができた。
B 各 種 療 法	療法的な音楽の時間	通年	全員対象	月1回	いわき音楽療法研究会MusicForestのご協力のもと、音楽を聴いたり、歌ったり、楽器を鳴らしたりする中で心から体を刺激し、生活向上と機能回復を目的とする。	保護者からも参加希望の要望が多く、子供たちも毎月の楽しみの一つとして喜んで参加していた。楽器の時間になると、自分の順番が回ってくると笑顔で楽器を叩いていた。
	陶芸療法	8月	全員対象	年1回	粘土を掴んだり、握ったりする作業から、手指の発達を促すとともに、言葉では表現できない心の内面を表現し、作品を作り出すことで喜びを実感する。	好きな形で型抜きを行いキャンドルケースを作成した。自宅に持ち帰り、キャンドルを灯したこと嬉しそうに話していた。
	遊戯療法	通年	全員対象	通年	遊びを通して、自らの問題状況や、言語化でいえない感情を表現することを目指す。	遊びの中で能動的に表現できるよう、職員の信頼関係を築き安全な遊びの場であることを知らせた。また、遊び方やどのような遊具を使っているか子供の成長の指標となった。
C 療 育	SST (社会生活技能訓練)	通年	全員対象	通年	人との関わり・行動をより適切で効果的に行えることができるよう社会的スキル訓練を行う。また、学習理論(行動理論)に基づく技法を用いて体系的、意図的に対象者の技法形成を図る構造化された技法で本人の強さを引き出す。	外出先のマナーや遊びの中でのルール等、教材やロールプレイで学んだ後、実際に体験をすることで更に学びを深めた。その他ソーシャルストーリー等を用いて、個々がわかりやすい内容でSSTを行った。
	TEACCH	通年	全員対象	通年	周囲の状況を自分の力で理解し、自分に必要な情報を選び出し、適切な行動ができるよう障害や能力に合わせて構造化した環境を整え視覚的支援をする。	全体スケジュールの掲示の視覚的構造化、わかりやすく環境をわける物理的構造化を行った。また、個別の状況に応じてイラストや写真のスケジュールを使用し安心できる環境設定を行った。

## 関係機関との連携強化

D 関係機関連携強化	家族支援	通年	全員対象	通年	不安をかかえている保護者に対する心理的ケアや保護者における療育方法の支援、利用者の兄弟に対する支援の促進など、家族を含めたトータルな支援を図っていく。	定期的な保護者へのアンケートや、連絡帳にて心理的ケアや療育方法の支援を行ってきた。また、芋煮会や親子遠足を実施し交流の機会を増やした。
	ケアマネジメント	随時	各関係者	随時	支援の切れ目が生じないように、各機関との連携の強化を図る。	必要に応じて、教育や地区センターと協力をし、支援会議を開催した。
	法人内連携	随時	法人内関係者	随時	相談支援事業を通し、本人や家族が必要としている制度の説明やサービス等を安心して利用できるよう円滑化を図る。	個々にあった、必要なサービスが提供できるよう相談支援事業所や障害児通所支援事業所と連携を行った。
	家族や介護者の負担を軽減する取組	10月	一部利用者(2名)	年1回	複数障害の家族やショートステイを契約しているが利用に至っていない利用者を対象に宿泊学習を行う。	複数障害児を対象に1回実施した。保護者より、今後もできる範囲で実施してほしいとの要望が聞かれた。

## 地域力を高める

買い物		一部利用者				
外食 テイクアウト	5月・7月 8月・12月 3月	一部利用者 (64名)	年6回	自己選択・自己決定を尊重し、地域での自立や社会参加を促進する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため主に、テイクアウトを行った。外食や買い物の日を楽しみに待つ利用者の様子が伺えた。自己選択・自己決定ができるよう促した。	
交通機関利用訓練	11月	一部利用者 (9名)	年1回	就労を見据えて、公共交通機関利用(バス・電車)の訓練を行う。	植田駅～湯本駅までの電車の利用訓練を行った。切符の購入や自動改札の通り方等を学んだ。	

## 社会貢献

高齢者との交流		一部利用者		高齢者とのつながりが、希薄になっている状況において、子供に豊かな人間性を育むとともに、高齢者とのふれあいで色々学んでいく。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。
地域の清掃活動	通年	一部利用者	通年	近隣の公園や公共施設のゴミ拾い等を行い、地域に環境保全に協力する。	室内活動の際、近隣の公園のゴミ拾いを実施。ゴミを探して拾うことで、きれいになることを喜んでいた。

## 会議および監査に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
A. 会議	令和2年4月 ～ 令和3年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 職員会議(毎月)</li> <li>b. 個別支援方針決定会議(随時)</li> <li>c. 権利擁護委員会(随時)</li> <li>d. 権利擁護委員第3者との懇談会(12月)</li> <li>e. 次年度事業計画策定会議(10～12月)</li> <li>f. 行事計画会議(随時)</li> <li>g. 理事会(6・3月)</li> <li>h. サービス担当者会議(随時)</li> </ul>
B. 監査	令和2年7月 令和3年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監事監査</li> <li>・書面監査</li> </ul>

### 研修に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
法人外	令和2年9月	令和2年度強度行動障害支援者養成研修
	令和2年11月	強度行動障害実践研修

### その他の事業

見学者	月	見学者名(団体名)	内容
	9月	家庭相談員	施設見学

## 令和2年度 活動内容実績

### 障害児通所支援 みによん

月 開所日数	児童発達支援			放課後等デイサービス			総計	延人数		
	(幼)男子	(幼)女子	合計	(児)男子	(児)女子	合計		男子	女子	合計
4月(26)	3	0	3	19	9	28	31	162	100	262
5月(26)	3	0	3	14	9	23	26	135	85	220
6月(26)	3	0	3	20	9	29	32	222	129	351
7月(27)	4	1	5	19	9	28	33	215	117	332
8月(26)	4	1	5	20	9	29	34	188	112	300
9月(26)	5	1	6	20	9	29	35	204	117	321
10月(27)	5	1	6	20	9	29	35	216	142	358
11月(25)	5	1	6	20	9	29	35	198	114	312
12月(25)	5	1	6	20	10	30	36	211	120	331
1月(24)	5	1	6	20	10	30	36	196	122	318
2月(24)	5	1	6	20	10	30	36	186	114	300
3月(27)	5	1	6	20	10	30	36	220	131	351
合計	52	9	61	232	112	344	405	2353	1403	3756

## 利用者数

幼児	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	計
6	5	2	3	2	4	2	24

中学1	中学2	中学3	高等1	高等2	高等3	計
2	3	2	1	1	3	12

## 学校名

保育所	こども園	いわき支援	富岡支援	勿来一小	勿来一中	植田	双葉北・南	遠野	くぼた校	錦
2	4	14	2	1	2	3	3	1	3	1
計										
36										

## 障害種類

自閉症	ダウン症	LD	ADHD	知的	合計
20	2	1	3	10	36

## 手帳等級

療育A	療育B	非該当	未申請	計
12	16	3	5	36

# 令和2年度 事業報告書

日中一時支援事業 みによん

### 生活支援に関する事業

実施事業名		実施月	実施状況		主な実施内容	結果
			参加人数	実施回数		
A 日 中 活 動	基本的な生活習慣	通年	全員対象	毎日	基本的な生活能力(食事・排泄・着脱等)を身に付ける。	利用者個々の能力や程度に応じた支援をし、基本的な生活習慣の習得につなげた。
	室内活動	通年	全員対象	毎日	一人ひとりの利用者の欲求を十分に満たし、生命の維持と情緒の安定を図る。	宿題や製作活動、リズム遊びを楽しんでいた。毎月、行われるお誕生会では、ゲームや紙芝居を楽しんだ。
	室外活動	通年	全員対象		近隣の公園・公共の施設の外出を通して基礎体力と心身の健康の増進を図る。	新型コロナウイルスにより、公共の施設への外出は自粛した。所内の遊具や近隣の公園へ出かけ心身の健康の増進を図った。
	製作活動	通年	全員対象	月1回	手・指を使うことで日常生活活動能力の向上を目指す。また、製作活動を通して達成感を味わい自信に繋げる。	父の日や母の日になんで、プレゼント製作を行なった。喜んでくれたことや、プレゼントを使ってくれたことを嬉しそうに話す子もいた。また、季節に合わせて室内の装飾作りもした。

### 会議および監査に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
A. 会議	令和2年4月 ～ 令和3年3月	a. 職員会議(毎月) b. 個別支援方針決定会議(随時) c. 権利擁護委員会(随時) d. 権利擁護委員第3者との懇談会(12月) e. 次年度事業計画策定会議(10～12月) f. 行事計画会議(随時) g. 理事会(6・3月) h. サービス担当者会議(随時)
B. 監査	令和2年7月 令和3年2月	・監事監査 ・書面監査

### 研修に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
法人外	令和2年9月	令和2年度強度行動障害支援者養成研修
	令和2年11月	強度行動障害実践研修

### その他の事業

見学者	月	見学者名(団体名)	内容
	9月	家庭相談員	施設見学

## 令和2年度 活動内容実績

日中一時支援事業 みによん

月 開所日数	小学校			中学校			高等部			成人			総計	延人数		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計		男子	女子	合計
4月(25)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月(27)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月(26)	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	2	3	2	2	4
7月(26)	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	2	1	4	5
8月(27)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	2	0	2
9月(25)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	2	0	2
10月(26)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	2	0	2
11月(26)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月(25)	0	0	0	0	2	2	0	1	1	2	0	2	5	2	18	20
1月(24)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2	1	4	5
2月(24)	0	0	0	0	2	2	0	1	1	2	0	2	5	2	27	29
3月(27)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2	1	1	2
合計	0	0	0	0	6	6	0	4	4	15	0	15	25	15	56	71

### 利用者数

中学1年	中学2年	成人	計
1	1	2	4

### 学校名

いわき支援	勿来一小	計
1	1	2

### 就労

就労B	生活介護	計
1	1	2

### 障害種類

知的	自閉症	計
2	2	4

### 手帳等級

療育A	療育B	計
3	1	4